

平成30年度一般会計予算

41億3,400万円を可決!!

(前年度当初比：2億2,760万円減)

平成30年度の一般会計当初予算は前年度対比で2億2,760万円（5.2%）減の41億3,400万円。特別会計当初予算は前年度対比で1億5,584万6千円減の15億8,753万8千円。一般会計及び特別会計（企業会計含む）の当

新 年 度 予 算

平成30年度予算

初予算の総額は57億2,53万8千円とした。



予算審査特別委員会の様子

総務企画課長 空家の所有者からも家屋の状態が悪く、近所に迷惑を掛けるので除却したいと相談を受けていますので、新年

質疑 空家調査の結果を踏まえて、倒壊などの恐れがある特定空家等への対策は今後、どのように進めしていくのか。

総務企画課関係質疑

▼ 知内町空家等利用促進支援事業補助金に90万円を計上

▼ 知内町空家等除却支援事業補助金に300万円を計上

▼ ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理業務委託料に1,542万3千円を計上

▼ ふるさと納税謝礼特産品購入費に1,800万円を計上

歳出の主なもの

総務企画課関係予算

平成30年 第1回 定例会

平成30年第1回定例会は、3月8日に招集され、会期を3月15日までの8日間と決め、3名の議員による一般質問（18頁～21頁に掲載）が行われました。

また、平成29年度一般会計及び特別会計の補正予算等の議案26件、教育委員会委員の任命についての同意1件の審議のほか、平成30年度の町行政及び教育行政執行方針が述べられ、審議した議案については、いずれも原案のとおり可決し、会期を1日残して閉会しました。

なお、平成30年度一般会計及び各特別会計予算に関する議案16件については、議長を除く議員全員による予算審査特別委員会に付託の上、「原案のとおり可決すべきもの」としました。

度から創設した制度の活用により、除却が進んでいくよう、制度のPRも含めて対策を講じていきたいと考えています。

事へ参加するためのものでです。

町、商工会と一体となつた日本版DMO法人の一員となり、平成30年以降の観光を新たな組織で協議をしながら進めていきたいと考えています。

◆地域創生推進室関係予算◆

- ▼移住・定住プラットホームPR業務委託料に526万円を計上
- ▼新名物ブース出展料に162万円を計上
- ▼観光地域づくり戦略推進事業助成金に1,322万9千円を計上

◆地域創生推進室関係質疑◆

質疑 新名物ブース出展料とはどういったものか。

地域創生推進室主幹 新

名物創造プロジェクト事

業のブース出展料は、これ

まで「かき小屋知内番屋」

が販売し、行列が出来る

ほどの人気を博した「牡

蠣飯弁当」を、町を代表す

る新名物とするため、全

国的にプロモーションして

いきたいと考えており、東

京や札幌で行なわれる催

新名物としての期待がかかる「牡蠣飯弁当」



町長 町民の皆様方からは、何とかしてもらいたい

といふ要望もあり、年齢を重ねるにつれ、将来的な不安を抱えていることも認識している。商工会などの弱者への対策として考えていることは。

町長 町民の皆様方から

は、何とかしてもらいたいという要望もあり、年齢を重ねるにつれ、将来的な不安を抱えていることも認識している。商工会などの弱者への対策として考えていることは。

町長 町民の皆様方から

は、何とかしてもらいたい

といふ要望もあり、年齢を

重ねるにつれ、将来的な不

安を抱えていることも認

識している。商工会などの

弱者への対策として考

えてい

ること。

町長 町民の皆様方から

は、何とかしてもらいたい

といふ要望もあり、年齢を

重ねるにつれ、将来的な不

安を抱えていることも認

識している。商工会などの

弱者への対策として考

えてい

ること。

町長 町民の皆様方から

は、何とかしてもらいたい

といふ要望もあり、年齢を

重ねるにつれ、将来的な不

安を抱えていることも認

識している。商工会などの

弱者への対策として考

えてい

ること。

町長 町民の皆様方から

は、何とかしてもらいたい

といふ要望もあり、年齢を

重ねるにつれ、将来的な不

安を抱えていることも認

識している。商工会などの

弱者への対策として考

えてい

ること。

町長 町民の皆様方から

は、何とかしてもらいたい

といふ要望もあり、年齢を

重ねるにつれ、将来的な不

安を抱えていることも認

識している。商工会などの

弱者への対策として考

えてい

ること。

町長 町民の皆様方から

は、何とかしてもらいたい

といふ要望もあり、年齢を

重ねるにつれ、将来的な不

安を抱えていることも認

識している。商工会などの

弱者への対策として考

えてい

ること。

町長 町民の皆様方から

は、何とかしてもらいたい

といふ要望もあり、年齢を

重ねるにつれ、将来的な不

安を抱えていることも認

識している。商工会などの

弱者への対策として考

えてい

ること。

町長 町民の皆様方から

は、何とかしてもらいたい

といふ要望もあり、年齢を

重ねるにつれ、将来的な不

安を抱えていることも認

識している。商工会などの

弱者への対策として考

えてい

ること。

町長 町民の皆様方から

は、何とかしてもらいたい

といふ要望もあり、年齢を

重ねるにつれ、将来的な不

安を抱えていることも認

識している。商工会などの

弱者への対策として考

えてい

ること。

町長 町民の皆様方から

は、何とかしてもらいたい

といふ要望もあり、年齢を

重ねるにつれ、将来的な不

安を抱えていることも認

識している。商工会などの

弱者への対策として考

えてい

ること。

町長 町民の皆様方から

は、何とかしてもらいたい

といふ要望もあり、年齢を

重ねるにつれ、将来的な不

安を抱えていることも認

識している。商工会などの

弱者への対策として考

えてい

ること。

町長 町民の皆様方から

は、何とかしてもらいたい

といふ要望もあり、年齢を

重ねるにつれ、将来的な不

安を抱えていることも認

識している。商工会などの

弱者への対策として考

えてい

ること。

町長 町民の皆様方から

は、何とかしてもらいたい

といふ要望もあり、年齢を

重ねるにつれ、将来的な不

安を抱えていることも認

識している。商工会などの

弱者への対策として考

えてい

ること。

町長 町民の皆様方から

は、何とかしてもらいたい

といふ要望もあり、年齢を

重ねるにつれ、将来的な不

安を抱えていることも認

識している。商工会などの

弱者への対策として考

えてい

ること。

町長 町民の皆様方から

は、何とかしてもらいたい

といふ要望もあり、年齢を

重ねるにつれ、将来的な不

安を抱えていることも認

識している。商工会などの

弱者への対策として考

えてい

ること。

町長 町民の皆様方から

は、何とかしてもらいたい

といふ要望もあり、年齢を

重ねるにつれ、将来的な不

安を抱えていることも認

識している。商工会などの

弱者への対策として考

えてい

ること。

町長 町民の皆様方から

は、何とかしてもらいたい

といふ要望もあり、年齢を

重ねるにつれ、将来的な不

安を抱えていることも認

識している。商工会などの

弱者への対策として考

えてい

ること。

町長 町民の皆様方から

は、何とかしてもらいたい

といふ要望もあり、年齢を

重ねるにつれ、将来的な不

安を抱えていることも認

識している。商工会などの

弱者への対策として考

えてい

ること。

町長 町民の皆様方から

は、何とかしてもらいたい

といふ要望もあり、年齢を

重ねるにつれ、将来的な不

安を抱えていることも認

識している。商工会などの

弱者への対策として考

えてい

ること。

町長 町民の皆様方から

は、何とかしてもらいたい

といふ要望もあり、年齢を

重ねるにつれ、将来的な不

安を抱えていることも認

識している。商工会などの

弱者への対策として考

えてい

ること。

町長 町民の皆様方から

は、何とかしてもらいたい

といふ要望もあり、年齢を

重ねるにつれ、将来的な不

安を抱えていることも認

識している。商工会などの

弱者への対策として考

えてい

ること。

町長 町民の皆様方から

は、何とかしてもらいたい

といふ要望もあり、年齢を

重ねるにつれ、将来的な不

安を抱えていることも認

識している。商工会などの

弱者への対策として考

えてい

ること。

町長 町民の皆様方から

は、何とかしてもらいたい

といふ要望もあり、年齢を

重ねるにつれ、将来的な不

安を抱えていることも認

識している。商工会などの

弱者への対策として考

えてい

ること。

町長 町民の皆様方から

は、何とかしてもらいたい

といふ要望もあり、年齢を

重ねるにつれ、将来的な不

安を抱えていることも認

識している。商工会などの

弱者への対策として考

えてい

ること。

町長 町民の皆様方から

は、何とかしてもらいたい

といふ要望もあり、年齢を

重ねるにつれ、将来的な不

安を抱えていることも認

識している。商工会などの

弱者への対策として考

えてい

ること。

町長 町民の皆様方から

は、何とかしてもらいたい

といふ要望もあり、年齢を

重ねるにつれ、将来的な不

安を抱えていることも認

識している。商工会などの

弱者への対策として考

えてい

ること。

町長 町民の皆様方から

は、何とかしてもらいたい

といふ要望もあり、年齢を

重ねるにつれ、将来的な不

安を抱えていることも認

考えています。まずは、地元商工業者で、どのような対応ができるのかを関係者と協議をしながら、買物弱者への対策とデマンドバスの運行も合わせて、検討していかなければならぬと考

▼湯の里診療所管理運営費に1,491万8千円を計上

▼保健医療総合センター管理費に1,308万6千円を計上

▼渡島西部広域事務組合

域連合負担金に1億1,475万5千円を計上

質疑 デマンドバスを、遠距離通学している学生の通学手段として、活用を検討できなか

町長 いろいろと課題はあると思うが、利用する方々のニーズに応える運行を考え、町民の皆さんに満足していただけるよう意見を聞きながら改善をしていきたい。

○少子化対策の推進のため次の制度が新設されました。

1 不妊・不育症治療費助成事業

不妊・不育症治療を受けている夫婦に対し、治療に要する費用の一部を助成し、経済的負担の軽減を図る。

2 新生児聴覚検査費助成事業

新生児の聴覚の異常を早期に発見し、治療に必要な支援体制の整備を図り、保護者の精神的負担及び経済的負担の軽減を図る。

❖生活福祉課関係予算❖

▼子ども医療費に1,842万1千円を計上

▼保育園委託料に6,900万7千円を計上

▼不妊・不育症治療費助成金に100万円を計上

▼新生児聴覚検査費用助成金に25万円を計上

❖生活福祉課関係質疑❖

質疑 子ども医療費助成を中学生から高校生までに対象を拡大するが、様々な支援策が考えられる中、総体的な子育て支援について、どのような考え方があるのか。

町長 保育料の無償化や給食費の無料化など、数多く考えられる子育て支援策の中から、今やるべきことを内部で検討をして、今回は、町内に住所を有する高校生まで医療費助成を拡充することとした。将来的にどのような子育て支援ができるのかは、様々な考え方があると思うので、子育てをしている保護者からの意見を聞かねばならないと考えてい

質疑 町指定のゴミ袋は、目一杯までに詰め込むと相当な重さになり、高齢者が集積所まで運ぶのに変苦労しているのをよく見かける。少し経費は掛かるかもしれないが、高齢者にやさしい町づくりのために、半分の大きさで種類を増やすことはできないか。

生活福祉課長 町指定のゴミ袋については、以前から様々なご意見がありましたが、今年度、大きさについて検討したいと考

生活福祉課長 交通費は助成の対象になりませんが、治療に関する費用については、遠方の病院で受診した場合も対象としたいと考えています。



第1回定例会の概要

◆産業振興課関係予算◆

- ▼新規高卒者等雇用奨励助成金に1,500万円を計上
- ▼二ラ共同調製包装施設利用助成金に1,909万7千円を計上
- ▼多面的機能支払交付金に2,260万5千円を計上
- ▼農地耕作条件改善事業に2,064万円を計上
- ▼知内ダム濁水対策調査施設設置業務委託料に200万円を計上
- ▼町有林整備事業に3,533万5千円を計上
- ▼水産種苗生産施設整備事業助成金に1億64万円を計上
- ▼ものづくり産業振興事業補助金に1億1,252万円を計上
- ▼「食」のスポット厨房機器等リース料に264万2千円を計上
- ▼物産館管理費に1,481万9千円を計上
- ▼健康保養センター管理費に3,603万4千円を計上

◆産業振興課関係質疑◆

- 質疑** 知内ダム濁水対策調査施設設置業務は、以前から力キ殻を使つた施設を設置しているが、その調査結果は出ているのか。

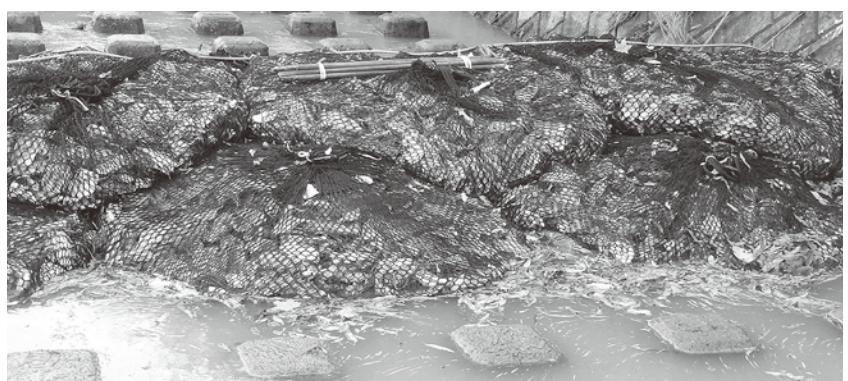
産業振興課長 既存の施設は、昨年、函館開発建設部が濁水対策として設置したもので、この調査数値については、開発建設部で随時に測定しています。今、詳細な数値はありませんが、きれいな水が流れています。

と聞いています。合わせて、町の方でも力キ殻を設置して、なお一層の濁水対策に努めたいということです、開発建設部と合同で水質の測定をする予定になっています。

町長

開発建設部の既設

のものは、流量に対しても量が適しているか疑問だつたことから、町の単独事業で試験的に設置の距離を広げる。調査で成果が上がれば開発建設部に対して、増設を要請していく。将来的な財源は



知内ダムの濁水対策のために力キ殻を設置

国からの補助金を含めどのような見通しなのか。

ものづくり推進室長

この事業は、平成28～30年の3年計画で承認され、国からの補助金が3年間で

計6,120万円交付される状況です。期間が長い事業であることと、その間の様々な要因の変化により、場合によっては、制度の検証と財源対策を踏まえて、全体的な見直しも視野に検討していきたいと考えています。

質疑 ものづくり産業振興事業に対する国からの補助金が1,555万円入ってくる予定になつて、あるが、この事業は、平成27年～28年のスタート以来、総事業予算11億6千万円のうち、国からの補助金は今までの実績で6千万円しか入っていない。将来的な財源は

質疑 「食」のスポット厨房機器等リース料は、いろいろな不具合があつた場合、機器の借り換え等があると思うが、これは永遠と続くのか。

産業振興課主幹 リースに関しては、ほとんどが3年で契約を結んでいます。「かき小屋知内番屋」が平成28年1月オープンということで、平成30年11月～平成31年1月でリース期間が満了となり、そのあ

とは、無償で町のものになる契約を結んでいます。また、一部、厨房用品で劣化の激しい部分については、新たなリース契約等も想定しています。



オープンから3年目を迎えた「かき小屋知内番屋」

❖建設水道課関係予算❖

▼浄化槽設置費補助金に

480万円を計上

▼町道ミヂの沢線付替工

事費に2,070万円を
計上

▼町道重内上雷線改良舗
装工事費に7,750万
円を計上

る必要があると考えてい
ます。

❖建設水道課関係質疑❖

質疑 公営住宅長寿命化
計画については、順次、計
画通りに整備されている
と認識しているが、外壁が

とても汚れている住宅が
ある。計画では平成32年に
改修する予定だが、外
壁の補修は多少遅れても
経費にはさほど関係しな
いということでいいのか。

建設水道課長

国道から
見える湯ノ里団地に関し
ては、カビやシーリングか
らの汚れであり、その部分
については、多少、整備が
後年次になつても費用は
大きく変わりません。ただ、
他の公営住宅でコンク
リートの亀裂が大きくな
つてきている住宅があり、
この亀裂に関しては、時間
が経過するほど経費が掛
かるので、早めに補修をす

質疑 ハマナス団地は、裏
が通路になっていて、その
奥に松林があり、団地との
間に幅数mの通路がある。
その通路が、冬は除雪の投
げ捨て場に利用されてお
り、住民がそこを通れずに、
建物の中通路を通らざる
を得ない状況となつていて
が、状況を確認しているか。



冬は除雪の雪がたまるハマナス団地裏の通路

建設水道課長 今の制度

質疑 住み替えとなると、
住宅によつては家賃が上
がると思うが、補償はある
のか。

建設水道課長 ハマナス
団地のフェンスの間の雪に
関しては、次期シーズンか
らは、北海道からの払い下
げのロータリーが導入さ
れたので、地権者からの許
可をいただき、入り口に支
障を来たすくらいにた
まつた段階で、ロータリー
による除雪対応をします。

質疑 公営住宅長寿命化
計画では、漁家団地が解
体の計画だが、現入居者の
住み替えも検討している
のか。

建設水道課長 過去に解
体している住宅では、住み
替えをお願いして、早めに
解体した例もありますの
で、漁家団地についても、
自然的に減を待つのでは
なく、住み替えもお願いし
ながらと考えております。



将来、解体の計画がある漁家団地

では、差額を埋める補助金を交付するという制度はありません。町営住宅の建て替え計画の中で、新築をすると、どうしても家賃が高くなってしまうので、緊急に対策を検討しなければならない問題と認識しています。

- ▼ 漁家団地は、16戸のうち9戸が入居しているが、その9戸を1箇所にまとめるようなリフォームをしてはどうか。
- 上
- ▼ 小学校タブレットパソコン更新に87万5千円を計上
- ▼ 高等学校バス通学生徒交通費助成金に1,450万円を計上
- ▼ 高等学校海外研修助成金に800万円を計上
- ▼ 幼稚園整備工事基本設計委託料に1,050万円を計上
- ▼ 文化スポーツ振興事業助成金に800万円を計上

❖教育委員会関係予算❖

▼ ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理業務委託料に1,153万7千円を計上

▼ 学校給食センター費に7,013万9千円を計上

▼ 小学校タブレットパソコン更新に87万5千円を計上

計上

▼ 高等学校バス通学生徒交通費助成金に1,450万円を計上

▼ 高等学校海外研修助成金に800万円を計上

▼ 幼稚園整備工事基本設計委託料に1,050万円を計上

▼ 文化スポーツ振興事業助成金に800万円を計上

建設水道課長 湧元地区

全体の町営住宅のあり方について、過去からいろいろな質問や地域住民からの要望等もありますので、どのようなあり方が一番いいのか協議をしていきたいと考えています。

❖教育委員会関係質疑❖

質疑 小学校タブレットパソコン更新事業は、経年劣化等により湯ノ里小学校と涌元小学校で機器を更新する事業だが、昨年実施した所管事務調査では、「早急に児童生徒数に見合う整備を望む」との意見を付したところであります。その対応として、新たに機器を導入する考えはなかったか。

動静を見据えて、計画的な環境整備を考えています。

教育長 所管事務調査でご指摘をいただいた点に向けて、計画的に整備をしなければならないと考えています。今年度については、中学校、高等学校の校務用パソコンの更新、タブレットパソコンについては、先行して導入した湯ノ里小学校、涌元小学校で劣化が激しいため更新をさせていただきます。学校との意見交換では、特に希望が強いのが、人的な配置などソフト面の対応で、具体的にはICT支援員の配置ですが、今後の教育の

置ですが、今後の教育の

質疑 小・中学生がスクールバスに登校しているが、空きが目立つ。知内高校生も乗ることはできな

いのか。

教育長 スクールバスに高校生が乗ることは想定していませんでしたが、乗っていないことの背景に何かあると思いますので、調査したいと思います。



各小学校では低学年からICTを用いた授業を実践

質疑

町立高等学校の運営について、平成30年度から通学区域を全国区としたが、全国展開している公立の学校を見ると、専門的な学科としているところが多い。知内高等学校は普通科だが、どのような形で魅力を発信し、全國から選ばれる学校にするのか。

質疑 幼稚園の建て替えに合わせて、子どもの安全を見守るようなモニター



現在の幼稚園は昭和52年に建築

を設置することは検討しているか。

学校教育課長

幼稚園の

建替えに関してはこれから基本設計に入りますが、先日、函館市内の保育園を視察した際、各教室に簡易的なカメラを付けて、それが職員室のモニターで監視できるシステムとなつておらず、とても参考となりましたので、基本設計の段階で検討したいと考えています。

❖水道事業会計関係質疑❖**質疑**

浄水場維持管理の民間委託について、当町と

隣町の維持管理を4名体制で管理するとのことだが、以前の質疑で従事者を町内に在住させて業務を行なつてほしいと要望していましたが、どのようになったか。

建設水道課長

4名の方

がどこに住むかというのをまだ確認が取れていませんが、4名のうち1名については、知内高等学校の卒業生と聞いており、当町に配置するという情報は聞こえています。

建設水道課長 4名の方
がどこに住むかというのをまだ確認が取れていませんが、4名のうち1名については、知内高等学校の卒業生と聞いており、当町に配置するという情報は聞こえています。

平成30年度後期高齢者医療特別会計予算採決結果**・起立多数**

○賛成委員・・・全委員

平成30年度介護保険特別会計予算採決結果**・起立多数**

○賛成委員・・・全委員

平成30年度公共下水道事業特別会計予算採決結果**・起立多数**

○賛成委員・・・全委員

平成30年度農業集落排水施設整備事業特別会計予算採決結果**・起立多数**

○賛成委員・・・全委員

平成30年度一般会計予算採決結果**・起立多数**

○賛成委員・・・全委員

平成30年度水道事業会計予算採決結果**・起立多数**

○賛成委員・・・全委員

平成30年度国民健康保険事業特別会計予算採決結果**・起立多数**

○賛成委員・・・全委員

（各会計の採決に、議長・委員長は加わらない）

財源不足への対応として
財政調整基金から18
7,000千円を繰り入れ

平成30年度における当初予算規模としては、前年当初比で227,600千円減の4,134,000千円となり、これに補正予算による計上予定分を含めた「年度間財政規模の見込」では、前年度比3

平成30年度における当初予算規模としては、前年当初比で227,600千円減の4,134,000千円となり、これに補正予算による計上予定分を含めた「年度間財政規模の見込」では、前年度比3

一般会計の歳入における町税は、町税全体で前年度決算見込み47,000千円減の681,000千円、地方交付税は、交付基準額を前年度交付額より8,000千円増の1,777,000千円と見込

いる。

審査意見

審査議員

審査年月日

平成30年3月12・13日

予算審査特別委員会報告

普通建設事業費における補助事業にあつては、前年当初比268,000千円減の101,000千円で、単独事業については、前年度当初比23,000千円増の273,000千円となっている。

特別会計においては、国民健康保険事業など5特別会計の合計で1,393,018千円、これに水道事業会計の194,520千円と一般会計を合わせた総合計は、前年度当初比38,344千円減の5,721,538千円となつて

51,660千円減の4,369,396千円となっている。

一方、公債費は、前年度当初比34,000千円増の780,000千円で、増の要因としては、平成26年度発行の過疎対策事業債及び緊急防災・減災事業債の元金償還が開始となるものである。

また、繰入金については、各種基金を目的に沿った事業へ充当するほか、財源不足への対応として財政調整基金から187,000千円を繰入れることとしている。



活発な議論が交わされた予算審査特別委員会

老朽化の著しい町営住宅は入居希望があるうちは居住できるような対応を

漁家団地など老朽化の著しい町営住宅については、今後、取り壊しの方向で検討されているようであるが、現住者の中には、低額な家賃を望んで入居している状況もあることから、団地内で点在してい

一方、公債費は、前年度当初比34,000千円増の780,000千円で、増の要因としては、平成26年度発行の過疎対策事業債及び緊急防災・減災事業債の元金償還が開始となるものである。

一方、公債費は、前年度当初比34,000千円増の780,000千円で、増の要因としては、平成26年度発行の過疎対策事業債及び緊急防災・減災事業債の元金償還が開始となるものである。

審査過程において出された意見の中で、2カ年の実証試験運行を経て、平成30年度から本格導入される知内版地域交通運行事業（デマンドバス運行事業）においては、デマンドバスの運行にあたって有効利用を考えた場合、高校生の通学への対応など、住民ニーズをしつかりと捉えた運行計画の策定を望むものである。

る入居を集約して、団地規模を縮小した上で住宅の改修を施し、入居希望があるうちは住宅に居住できるよう対応していただきたい。

空家居住促進事業は制度の見直しの検討を

湯の里・ハマナス・漁家団地空家居住促進事業においては、一部で制度の意図にそぐわない運用が見受けられることから、今後は、制度の見直しも含め、小規模校の維持と公営住宅の居住促進という所期の目的が達成されるよう望むものである。

ものづくり産業振興事業は状況の変化に応じて制度の見直しを

10カ年で総額11億5,660万円の事業費を見込み、平成27年度の条例施行から3年目を迎える「ものづくり産業振興事業」

については、計画当初に予定していた国からの補助金が見込みどおりに交付されないようであれば、今後の町の財源対策を考えた場合、状況の変化に応じて事業制度を見直すことの検討も必要と考える。

計画的で効率的な予算の執行を

なお、予算の執行にあたっては、一般財源の不足に対応するため財政調整基金の繰り入れが必要となるなど厳しい行財政運営が余儀なくされるものと思われるが、さらなる財政の健全性を高め、計画された各種施策が効率的に実施されることはもとより、審査の過程で述べられた各委員からの質疑や意見・要望を参照し、最大限の効果が上がるよう望むものである。

◆平成30年度 議会費予算の概要◆

前年度対比 264千円増

単位:千円

| 区分 | 30年度 | 29年度 | 増 減 | 説 明 |
|-------|--------|--------|-------|--|
| 報酬 | 21,072 | 21,072 | 0 | 月額：議長25万5千円、副議長20万円 委員長18万千円、議員17万円 |
| 給料 | 8,635 | 8,838 | △ 203 | 職員給料(局長、係長) |
| 職員手当等 | 14,692 | 14,083 | 609 | 期末勤勉手当、職員各手当 |
| 共済費 | 13,399 | 13,562 | △ 163 | 議員、職員共済負担金等 |
| 賃金 | 2,716 | 2,507 | 209 | 準職員賃金 |
| 旅費 | 2,874 | 3,068 | △ 194 | 議員町外費用弁償、研修旅費、普通旅費 |
| 交際費 | 500 | 500 | 0 | 議会としての各種交際費 |
| 需要費 | 1,050 | 1,050 | 0 | 議会だより印刷製本費、法規、各種購読料等 |
| 役務費 | 10 | 10 | 0 | 広告料 |
| 負担金 | 490 | 484 | 6 | 管内議長会、渡島西部四町議會議員連絡協議会負担金等 |
| 合計 | 65,438 | 65,174 | 264 | 一般会計に占める議会費の割合=1.58% |

※報酬については、予算編成後に報酬月額が改正されたため、年度間で補正する見込みです。

補 正 予 算

■平成29年度一般会計補正予算（第11号）

既定の歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ2億5,711万9千円を減額し、47億2,105万6千円としました。

歳出の主なもの

❖総務企画課関係予算❖

ふるさと創生事業補助金から160万円を減額

❖生活福祉課関係予算❖

臨時福祉給付金の給付額確定により136万5千円を減額

子ども医療費の確定により100万円を減額

一時預かり事業補助金の確定により125万6千円を減額

千円を減額

❖産業振興課関係予算❖

産地パワーアップ事業

補助金の確定により757万2千円を減額

農業振興施設等整備事業補助金の確定により210万円を減額

農地耕作条件改善事業工事費として3,087万6千円を計上

森林整備対策事業補助金の確定により369万5千円を減額

漁業競争力強化型機器等導入事業の確定により1,964万6千円を減額

ものづくり産業振興事業補助金等の確定により9,550万円を減額

高等学校バス通学生徒交通費助成金の確定により260万円を減額

文化・スポーツ振興事業助成金の確定により450万円を減額

中央公民館及びスポーツセンター木質バイオマスボイラーコンバーチャーの執行残として1,075万5千円を減額

町道重内上雷線改良舗装工事費の執行残として345万4千円を減額

教育委員会関係予算額

高等学校教員住宅屋根吹替工事費の執行残として143万1千円を減額

高等学校バス通学生徒交通費助成金の確定により260万円を減額

文化・スポーツ振興事業助成金の確定により450万円を減額

中央公民館及びスポーツセンター木質バイオマスボイラーコンバーチャーの執行残として1,075万5千円を減額

農林水産業を基幹とする本町の地域産業の維持と振興発展のため、担い手の確保と育成は極めて重要であり、喫緊の課題でもあることから、本町地域産業の担い手研修に際して、宿泊や交流研修などの就業環境を整える目的で整備された「しりうち地域産業担い手センター」の適正な管理と効果的な利用に資するため、必要な事項が定められました。

条例の制定

■しりうち地域産業担い手センターの設置及び管理制度に関する条例の制定について



地域産業の担い手確保と育成を目的として整備された
「しりうち地域産業担い手センター」

概要

その他の議案

旨の答申があり、その答申に従つて、給料月額の改正をするものです。

■町長等の給料額及び旅費額支給条例の一部を改正する条例について

【概要】

町長等の特別職の給料額にかかる改正で、平成29年12月4日開催の特別職報酬等審議会で、当町の特別職の給料月額が町長、副町長、教育長とも、渡島総合振興局管内でもっとも低い水準となっていることに鑑みて、管内で当町の次に水準の低い町と同額とすることが妥当である

(単位:円)

| 役 職 | 改正前 | 改正後 |
|-------|---------|----------------|
| 町 長 | 685,000 | 700,000 |
| 副 町 長 | 590,000 | 600,000 |
| 教 育 長 | 525,000 | 560,000 |

賛成討論 「成澤委員」

以上のようないくことになります。今回の提案については、時期尚早だと思っている。

今回のこの改正については、報酬審議会の提案ということがある。また、渡島管内でも低位にあり、管内の中でのような状況に置かれているのか財政的に比較した場合、そういうことも頭をよぎり、財政の懸念もそこで引き起こされることも考えられる。低いところは全道的に見ればあるが、町長のこれまでの先進的な事業の展開、あるいは、施設の導入、そういうことも考えれば、やはり見合った形の報酬で賛成と考えている。

採決結果

賛成委員・・・・・ 6人

五十嵐委員、花井委員
吉田委員、成澤委員
笠松委員、谷口委員

反対委員・・・・・ 2人
松井委員、西山委員
採決に議長・委員長は加わらない。

反対討論 「西山委員」

民間の雇用者がどういう状況なのか調査をし、町としてどういう施策が可能なのか、審議をするには、そこが基本となり、給料の改正に関しても複

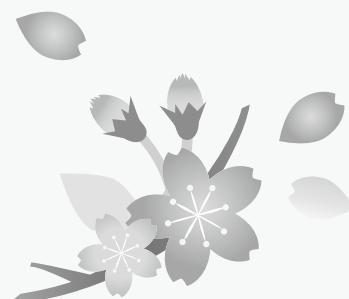
合的に判断できると思う。町内の雇用状況を調査すると、30代、40代が今までの先進的な事業の展開、あるいは、施設の導入、そういう状況なのかも確認でき、それに対する施策検討の材料になる。

今回、町内の雇用状況を調査する意思はないとはつきりと出たが、雇用状況の確認は今後もその都

反対討論 「松井委員」

以前から民間に対する調査を期待していたが、今回は調査しないということが明言されたところで、非

常に今、疑惑を感じているが、最低限、町の企業の調査といいのには必要だと思ふ。絶対に必要だと思う。これらもこの調査については、強く求めていきたい。



第1回定例会の概要

■平成29年度知内町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）について

■平成29年度知内町後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）について

■知内町国民健康保険条例の一部を改正する条例について

■平成29年度知内町介護保険特別会計補正予算（第4号）について

■平成29年度知内町公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）について

■平成29年度知内町農業集落排水施設整備事業特別会計補正予算（第2号）について

■平成29年度水道事業会計補正予算（第5号）について

■職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

■知内町水産種苗育成セ

ンターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例について

■知内町青少年交流センターに係る指定管理者の指定について

発 委

■地方自治法第203条及び第203条の2に定めある者に対する報酬及び費用弁償支給に関する条例の一部を改正する条例について

■地方自治法第203条及び第203条の2に定めある者に対する報酬及び費用弁償支給に関する条例の一部を改正する条例について

■知内町後期高齢者医療条例の一部を改正する条例について

■議員報酬にかかる改正に関する条例の一部を改正する条例について
では、現行の報酬額については、平成19年4月1日には、当時の社会経済情勢に加えて、実質公債費比率も25%を超えるなど、財政の健全化に資することが必要であることから、議員報酬額を議長・副議長・常任委員長・議員それぞれ一律5%を削減しました。しかし、今日的な財政運営も安定の傾向にあり、実質公債費比率も平成28年度では、13%台と下がってき

(単位：円)

| 役 職 | 改正前 | 改正後 |
|-------|---------|----------------|
| 議 長 | 243,000 | 255,000 |
| 副 議 長 | 190,000 | 200,000 |
| 委 員 長 | 171,000 | 180,000 |
| 議 員 | 162,000 | 170,000 |

人 事 案 件

▼教育委員会委員の任命

任期満了に伴い、教育委員会委員に次の方を任命することに同意しました。

○山田麻利子氏(涌元)（再）

てることや報酬審議会の答申にも基づき、改正前の報酬額に戻すものです。

追加議案

歳出の主なもの

■平成29年度一般会計補正予算（第12号）

既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ650万円を追加し、47億2,755万6千円としました。

歳出の主なもの

建設水道課關係予算

町道除排雪業務委託に650万円を追加

■平成29年度一般会計補正予算（第13号）

既定の歳入歳出予算の
総額に、歳入歳出それぞ
れ2億8,400万円を追
加し、50億1,155万6
千円としました。

のような考え方からか

町長 何か新しい事業を
展開するにあたって、必ず
新規の雇用を生ませること
のような考え方からか。

とを一貫してやつてきていた。パン製造施設は、農村活性化センターを有効活用したいということであり、新規でどのような方々が就労できるかは、これから詰めなければならぬが、10名以上の雇用が生まれると考えている。

2点目の牡蠣飯弁当製造施設は、全員協議会でいろいろと厳しい意見をいただき、中ノ川・森越地区漁業推進部会の3役に町の考え方を示し、生産者が抱えている課題も率直に意見交換をした。厳しい状況を少しでも改善できる仕組みを作りたいと考

補助交付については、その額の多少に関わらず、その目的、必要性を明確に示さなければならぬのは当然である。1企業に対して高額の補助交付をした場合に、どのような相乗効果が生まれてくるかが、今までの論議の過程の中では全く見えてこない。私は、当該企業に対する補助交付については、今まで一貫して否定をしてきた。今まで投資した額を他産業に投資していくら、ど



道の駅「しりうち」に隣接する農村活性化センターをパン製造施設として整備

えており、町と上磯郡漁協と推進部会が情報を密に連携をし、この事業を一つの契機として、所得の向上につながつていけばと考えている。なお、牡蠣飯弁当製造施設が開設した場合、新たに4名の就労が実現でき、地元からの雇用を要望している。

れだけの相乗効果が出てきたんだろうかと思っている。

更に、用地買収についても、通常の路線価を全く無視したやり方は、どうしても理解ができない。私はこの事業について、町民の皆様方にどのように説明していいのか、非常に戸惑っている。

賛成討論 「成澤議員」

本町は一次産業の町で、農業ではニラが全道一という生産を誇り、町民も誇らしく思っているが、一方、水産業は、魚の種類も量も激減しているという漁業者の声も聞いており、今後は養殖、育てる漁業に大きな希望を持っているのも理解している。今回、国策で地方が稼げる力を後押しする審査があり、短期間に厳しい書類審査が通って、今回の提案に至つたと理解している。この牡蠣飯弁当の目的は、1つは高付加価値化、2点目は生産者の所得の向上、3

点目は新規雇用の創出を図る目的と聞いており、いずれも当町には必要な目

的が合致したものである。

今回の事業で、地元産の力キが全量必要な分だけ初年度から揃うのかといふ議論もあるが、生産者との話し合いも進んでいることも理解をしている。

また、用地についても、

町の税金で購入するという点で、折り合った金額と理解している。これらを勘案すると、海という自然に立ち向かっている漁業者の活路を開く、町の施策と理解している。

反対討論 「西山議員」

牡蠣飯弁当製造施設整備事業については、時期尚早だと考える。かき番屋をオープンさせ、その後、指定管理者制度を活用して、定期的に厳しい書類審査が通って、今回の提案に至つたと理解している。この牡蠣飯弁当の目的は、1つは高付加価値化、2点目は生産者の所得の向上、3

ろ現れていない状況にある。知内かき番屋は赤字経営で、業務内容も自己

資本比率4.7%という状況もあり、また、既存の施

設でもある程度は製造ができることから、その製造販売の実績を積み重ねて、町が業者との協議の中で支援するという形を取っていただきたい。



かき小屋知内番屋と同じ敷地内のバーベキュー
小屋隣に牡蠣飯弁当製造施設を整備

賛成討論 「笠松議員」

ニラは間もなく50年を迎える。その50年間耐えてきたもの、また、町からの手厚い協力を得て、ここまでになつたものと自負している。これまで、水産部門

に対しては、私が思うような大きな支援はあまりなかつたような気がしてならない。今回、この知内の力キを加工して全国展開しようとしている。そのことに関して、すごく感動を覚えている。パン製造施設整備に関しては、本当に心を込めて作っている米粉を取り入れた事業を開いていただくことに敬意を示して、賛成したいと思う。人の流れのある町、若者の力が生き生きと活かされる町を願い、今後の益々の発展を信じて私は賛成したいと思う。

採決結果

賛成議員・・・7人

五十嵐議員、花井議員

吉田議員、成澤議員
木村議員、笠松議員

谷口議員

反対議員・・・2人

松井議員、西山議員

議長は採決に加わらない。